

今週の展示

「生と死」と 向き合って

戦争、災害、病気と医療など
多様な視点から「生と死」と向き合い、
いのちを未来へつなぐ
京都ならではの取り組みを紹介しています。

いのち

Life

This Week's Exhibition



Facing "Life and Death"

From various perspectives such as war, disasters, illness, and medicine, this initiative explores the themes of life and death and how we can pass life on to future generations. It introduces efforts unique to Kyoto in this pursuit.

1-1

津波災害に備える

流起式可動型津波防波堤のシミュレーター展示

展示作品

流起式防波堤は水の流れを利用し無動力で起立する防波堤。
地震時にライフラインが損傷を受けても、その影響を受けずに作動します。
同じ仕組みで引き波時にも起立し、港内からのコンテナや
家屋等の財産の流出を防ぎます。
またベルトの長さを調節することで、起立高さを変えることができます。

地震による海底基礎地盤の変形に影響を受けない

基礎地盤とは柔軟性のあるゴムベルトで連結され地盤が多少変形しても防波堤の作動に影響を与えません。ゴムベルトはダム等でも使われ、信頼性・耐久性が確認されています。



京都大学防災研究所
宇治市五ヶ庄

1-2

「地震の揺れ」が見える防災教育教材 新・満点箱

展示作品

全国で展開された次世代型稠(ちゅう)密地震観測網「満点計画」プロジェクトで、実際に使用された地震計を活用した防災教育教材です。

※稠密地震観測網＝対象地域にたくさんの地震計をすき間なく設置し、観測を行うこと。小さな地震のデータを大量に収集し、研究に活用することができる

地震の波形をリアルタイムで表示

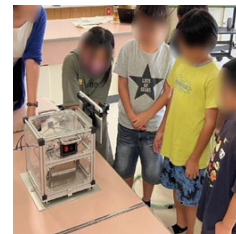
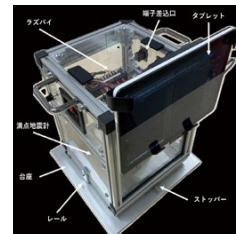
箱の近くでジャンプしてみてください。地震計がその揺れをキャッチし、タブレットにリアルタイムで波形(地震の大きさ)が表示されます。ジャンプの大きさが変われば、波形にも変化があることを実感してみましょう。

地震科学と日常生活の橋渡しに

防災教育現場で「地震科学の世界(サイエンス)」と「日常生活の世界(リアルライフ)」を橋渡しするツールとして活躍中です。



京都大学防災研究所
宇治市五ヶ庄



1-3

動画生成AIによる 防災意識を高めるシミュレーション映像

展示作品

津波・台風をモチーフにした防災シミュレーションです。
映像を見ることで、
日頃から防災意識を高めることが大切です。

(監修:津波:森信人教授/台風:竹見哲也教授)

制作:巨大災害研究センター災害情報システム研究領域

音楽:瀧川雄亮 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻計測評価工学分野研究室修士1年生

動画制作:京都大学ILASセミナー「理工系アートのススメ」受講学生)



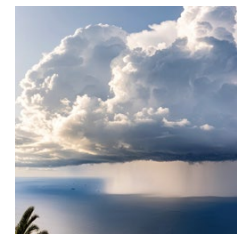
Cloud's Life:雲の一生

より多くの人に雲に関心を持ってもらうために、雲の一生をテーマに、ドラマチックにその一生を動画生成AIで描いた動画です。

(監修:山口弘誠教授、中北英一名誉教授/制作:巨大災害研究センター災害情報システム研究領域)



京都大学防災研究所
宇治市五ヶ庄



1-4

日常時から着られる防災ファッション

展示作品

防災服を普段から着ていれば、
救える命が増えるはずという目標を持って、
消防士が着ている燃えにくい生地で作ったフード付きコート、
夜道の歩行や災害で瓦礫の下に埋まった時に活躍する
LEDを用いたワンピースなどを設計し、
2025年NY Fashion Week秋・冬コレクションで、
防災ファッションとして、発表しました。
(巨大災害研究センター災害情報システム研究領域)



京都大学防災研究所
宇治市五ヶ庄

2-1

京都府立医科大学と チリ・ロスアンデス大学との国際交流の紹介映像

展示作品

京都府立医科大学はチリのロスアンデス大学と協定を結び、
学生交流や医療交流を進めています。
チリでの大腸がん検診の導入や、
内視鏡検査の普及も支援していきます。



日本では大腸がんの罹患数1位、死亡数2位^{※1}(2020-2022年)

日本では40歳以上を対象に便潜血検査による大腸がん検診を毎年実施しています
(受診率40%)。米国では50歳以上に内視鏡検査が実施され(受診率70%)、世界でもWHO
の調査(2022年)において大腸がんの罹患数は3位、死亡数は2位となっています。

1 国立がん研究センター情報サービス調べ



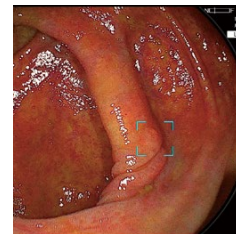
京都府立医科大学附属病院内視鏡・超音波診療部
京都市上京区梶井町465

2-2

高解像度の4Kモニターを用いた高性能内視鏡システム

展示作品

高解像度の4Kモニターを用いた高性能内視鏡システムが登場。
腫瘍に色を付け見逃しを少なくする観察モードや、
人工知能(AI)を搭載した製品が、
自動で腫瘍を認識してくれる機能など、
正確な診断を支えています。



AIによる癌の発見



スネアという処置具



京都府立医科大学附属病院内視鏡・超音波診療部
京都市上京区梶井町465

3

サイネージドレスに映し出された 子供たちが夢見た「命輝く未来」の音楽祭の映像

展示作品

京都インクルーシブ国際音楽祭で世界の子どもたちが
「いのち輝く未来社会」をテーマにAI作曲ツール"Creevo"を使って作曲した
優秀作品を、サイネージドレスに映し出します。
国籍や文化を越えた才能が万博会場で輝きます。

京都インクルーシブ国際音楽祭

多様な人々が、それぞれの違いを認め合い、排除されことなく共に生きる社会を目指すインクルーシブ。この展示はその考えのもとに世界の子どもたちが
参加した京都インクルーシブ国際音楽祭の成果です。

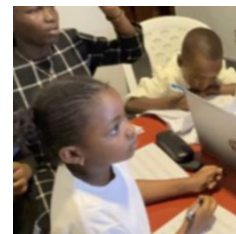
LEDサイネージドレス

「アート&テクノロジービレッジ京都」発のLEDサイネージドレスを使った最先端(※1)のサイネージドレス(※2)に映し出して披露します。

※1 デジタルサイネージアワード2025受賞 ※2 制作:濱田プレス工藝株式会社



京都インクルーシブ国際音楽祭実行委員会
乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30-1



4-1

第二次世界大戦の終戦後、長い間 シベリアに捕われていた人たちの記憶

展示作品

第二次世界大戦後、多くの日本人がシベリアに抑留され、
過酷な労働を強いられました。

抑留体験者の中には、日記や家族への葉書を書くことで小さな喜びや
希望を見出し、それらが生きる力となり、帰国を果たした人々もいます。

白樺の皮を使った「白樺日誌」や「スケッチブック」

「俘虜用郵便葉書（ふりょようゆうびんはがき）」などにより

当時の人々の心情も知ることができます。

※俘虜用郵便葉書とは、1946年10月～1950年頃まで、抑留者に広く支給された往復
葉書のことです。



ユネスコ世界記憶遺産に登録

苦難が続いた歴史を後世に伝え、世界平和の願いを未来へ発信するため、「白
樺日誌」「スケッチブック」「俘虜用郵便葉書」等の資料をユネスコ世界記憶遺
産に登録しました。



舞鶴市

舞鶴市字北吸1044番地

4-2

シベリアからの引き揚げ者がたどり着いたまち、舞鶴 ～抑留から交流へ～取り組みの映像

展示作品

学生による最新のデジタル技術を活用した、
新しい継承の形が生まれています。
また、引き揚げの歴史が縁となったウズベキスタン共和国など、
海外との交流も進めています。



若い世代が史実を語り継ぐ

舞鶴市では、引き揚げの関係者が少なくなるなか、未来を担う若い世代による
「史実の語り継ぎ」事業が進んでいます。

同世代との交流も

「学生語り部」は中学生から大学生までが参加し、体験者の話を聞いて学びながら、引揚記念館での館内案内や同世代との交流等「次世代による継承」に取り組んでいます。



舞鶴市

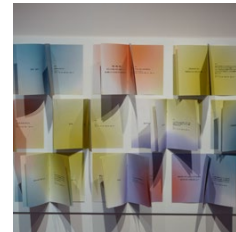
舞鶴市字北吸1044番地

5-1

LASTWORDSについて

展示作品

「人生最期に遺したい言葉は何ですか？」
という問いを中心に、
人々が自分の「生と死」に向き合い、考え、言葉を紡ぐワークショップや
展示を実施するプロジェクトです。
この世界でより良く生きていくために、
どんな最期を迎えたいのか、どんな言葉を遺したいのか、
一緒に考えませんか？
本展示「死をたずね、いのちを問う」は、
あなたの言葉で「いのちの木」を成長させる、体験型展示です。



一般社団法人inochi 未来プロジェクト / WAKAZO
大阪市西区阿波座1丁目5番12号

5-2

LASTWORDSが息づく、 いのちの木

展示作品

学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学の学生たちが授業の一環で制作する「瓜生山(うりゅうざん)ねぶた」で、いのちの木を表現しました。
幹に貼られた言葉は、これまでに誰かが紡いだ人生最期に遺したい言葉です。
葉っぱに書かれた言葉は京都ゾーンで集まった言葉です。
「十人十色のいのち」のありかたをご覧ください。



いのちをつなぐ

あなたのLASTWORDSが、いのちの木に息を吹き込みます。その言葉は、未来の誰かがいのちに触れるための光となります。

光が灯る、京都芸術大学の瓜生山ねぶた

瓜生山ねぶたづくりとは、17年つづく京都芸術大学の名物授業です。



一般社団法人inochi 未来プロジェクト / WAKAZO
大阪市西区阿波座1丁目5番12号

6

『Super Cell / Inner Sights』

乳がん当事者たちによる絵の具と言葉の対話による作品

展示作品

バブルペイントを使った非言語的な対話
目に見えないがん細胞を想像するために、
細胞分裂をイメージして、油膜と絵の具によるバブルペイントと言う
誰でも簡単にできる技法で表現しています。

言葉にならない言葉

がんに向き合う人は誰もが命の存在を改めて強く意識します。当事者にしか分からない葛藤で、言葉になりきれない言葉も、余白をバブルペイントが補いながら紡がれる状況を探ります。

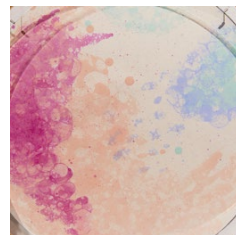
言葉と絵の対話

人間にとって整理された言葉だけが状況を把握する情報ではありません。バブルペイントを使った対話によって、私たちは、乳がんをはじめとするがん当事者どうしの対話の方法を提案しています。



HUMAN AWESOME ERROR

京都市下京区岩滝町174



京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



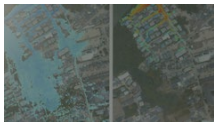
**1935年6月の水害で
大破した三条大橋**

撮影地：提供素材
協力者：京都府



鍼灸

撮影地：MIYAMA 森の湯治場（南丹市）
協力者：美山里山舎



災害シミュレーション

撮影地：京都大学防災研究所
宇治川オープンラボラトリー
（京都市伏見区）
協力者：京都大学防災研究所



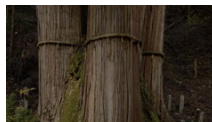
杉の芽

撮影地：京都市右京区京北



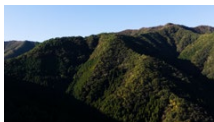
災害シミュレーション

撮影地：京都大学防災研究所
宇治川オープンラボラトリー
（京都市伏見区）
協力者：京都大学防災研究所



花背の三本杉

撮影地：京都市左京区花背



山並み

撮影地：美山虹之湖付近（南丹市）



おじいちゃんとおばあちゃんの顔

撮影地：京丹後市弥栄町（京丹後市）
協力者：いやさか吉野地域づくり協議会

映像紹介



おばあちゃんの手

撮影地：京丹後市弥栄町(京丹後市)
協力者：いやさか吉野地域づくり協議会



ストレッチする家族

撮影地：MIYAMA 森の湯治場(南丹市)
協力者：美山里山舎



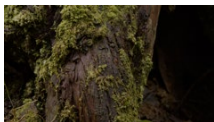
オレンジリング

撮影地：スタジオ



融通念仏縁起絵巻(清凉寺本)

撮影地：提供素材
協力者：「重文 融通念仏縁起(下巻)」
(清凉寺所蔵、画像提供 奈良国立博物館)



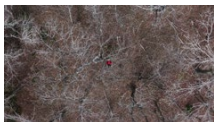
八幡宮大杉の根元を這う蟻

撮影地：中川八幡宮社(京都市北区中川町)



京都府立医科大学 大正4年

撮影地：提供素材
協力者：京都府立医科大学



ハイカー

撮影地：るり渓深山ハイキングコース
(南丹市)



京都府立医科大学 大正4年

撮影地：提供素材
協力者：京都府立医科大学

映像紹介



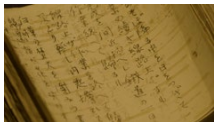
コーリャン粥

撮影地：スタジオ



薪ストーブ

撮影地：スタジオ



白樺日誌

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館



**舞鶴引揚記念館の壁に
掲載されている写真**

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館



**引揚港舞鶴の当時の様子を
再現したジオラマ**

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会